

議会だより

第 54号

令和3年3月 1日 発行



紀宝町立図書館・子育て支援センター複合施設

議会日誌

令和2年10月～12月

- | | |
|---|----------------------------|
| 10月 9日 熊野川河口に橋を架ける会 要望活動（津市） | 11月 27日 全員協議会 |
| 13日 熊野川改修促進期成同盟会 要望活動（大阪市） | 議会運営委員会 |
| 27日 国道168号（五条・新宮間）整備促進協議会総会（大阪市） | 30日 第3回臨時会 |
| 29・30日 熊野川河口に橋を架ける会 要望活動（和歌山市、大阪市他） | 12月 1日 総務産業常任委員会 |
| 11月 6日 三重県町村議会議長会 正副会長・理事会・県議会陳情（津市） | 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 13日 三重県市町総合事務組合議会定例会（津市） | 教育民生常任委員会 |
| 16日 三重県町村会創立100周年記念式典（津市） | 3日 環境保全対策特別委員会 |
| 17日 熊野川流域対策特別委員会合同視察（池原・小森ダム）（奈良県下北山村他） | 8日 議会運営委員会 |
| 18・19日 三重県町村議会議長会県外視察（高知県） | 10日 総務産業常任委員会合同視察（浅里地滑り箇所） |
| 20日 議会運営委員会 | 15日 第4回定例会・第1日目 |
| 東紀州広域ごみ処理施設整備に係る報告会 | 16日 第4回定例会・第2日目 |
| 25日 南牟婁郡交通安全対策協議会（御浜町） | 議会議員定数及び報酬調査特別委員会 |
| | 21日 熊野・南郡正副議長会（熊野市） |

新しい体制スタート

令和3年第1回紀宝町議会臨時会が開催されました。
この臨時会で、常任委員会委員と議会運営委員会委員が任期満了に伴い、新しく選任されました。同時に、議長、副議長の選挙も行われ、議長に向井健雅議員、副議長に山本精一議員が選ばれ、新しい議会構成でスタートしました。また、議会議員の定数を定める条例の一部改正があり、次回選挙から議員定数が13名から11名になりました。

議長就任あいさつ

町民の皆様には、平素より町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

二月十日開催の第一回臨時会において町議会議長に就任させていただきます。

社会全体が、新型コロナウイルス感染症の影響により大変な状況下にあります。町民の皆様は寄り添い、公正で開かれた議会としての機能を発揮し、明るく住みよい「紀宝町」の実現に向け、町議会一丸となって、一生懸命努力してまいります。

今後とも、一層のご理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。



議長
向井 健雅



副議長
山本 精一

委員会構成

各委員会構成は、次のとおりです。
(委員長、副委員長以下は議席順)

■常任委員会 (○は委員長、○は副委員長)

◆総務産業

◎萩野 進也 ○榎本 健治 平野 美津子
◎萩野 健 山本 精一 瀬越 幸雄

◆教育民生

◎市川 潔 ○浅田 和江 平野 美津子
◎野田 純志 原 章三 奥峪 康之
◎向井 健雅

■議会運営委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◎榎本 健治 ○萩野 進也 市川 潔

※議長選に伴い、向井議員が所属していた特別委員会に新たに萩野議員が選任されました。

12月定例会 一般質問

(要約)

令和2年第4回紀宝町議会定例会は、12月15日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、続いて、町長から、第3回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。

その後、一般質問が行われ、第2日目の16日にわたり7人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、条例の制定1件、条例の一部改正3件、指定管理者の指定1件、新町まちづくり計画の変更1件、町道路線の認定1件、工事請負契約の変更1件、紀宝町指定金融機関の変更1件、令和2年度一般会計補正予算、特別会計補正予算(3会計)を原案どおり可決し、閉会しました。

新宮紀宝道路

議員

冒頭に先ほど町長の諸報告にもございましたが、来年15周年記念を迎えるということで感慨深いものがあります。合併後、8年程で基金も20億ぐらいというふうに記憶してございますが、まず、違う方ではこれまでの基金は貯められなかったという気もいたしますし、職員はじめ、それぞれ頑張ったからこそ、こういう

結果になったというふうに何より申し上げておきます。新宮紀宝道路近畿自動車道紀勢線について、用地取得の状況について説明をお願いします。

基盤整備課長

11月30日現在の紀宝町域での契約状況であります。248筆中、243筆、97・9%で、面積といたしましては、58368・88平方メートル中、56368・88平方メートル、97・1%であります。国土交通省・県プロジェクトチームでは、今後も

契約締結に向け、ご理解を頂くよう努力してまいりたいと伺っております。

議員

用地のほうも、いよいよ次の段階に入っていると思いますので、今後も努力をしていただきますというふうに思います。次に、工事の進捗、工事発注の状況は。

基盤整備課長

工事の進捗であります。紀宝町域につきましては、新宮紀宝道路紀宝ランプ橋下部工事、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4・P6下部工事、

本年10月末には、新宮紀宝道路紀宝IC下部工事が完成し、計3件の工事が完成しております。次に、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1・P6上部工事他8件、計9件の工事が現在施工中であります。また、今後の発注予定につきましては、新宮紀宝道路J高架橋上部工事、1件が公告中であります。新宮市域につきましては、新宮紀宝道路新宮あけぼの地区改良工事、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1・P3下部工事、新宮紀宝道路新宮地区改良他工事の3件が完成しております。次に、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1・P3上部工事他2件、計3件の工事が現在、施工中であります。今後の発注予定につきましては、新宮紀宝道路あけぼの地区函渠設置工事、1件が公告中であります。



柑橘農家の状況

議員

1日も早い完成を願う1人として、今後も努力をしていただきたいというふうに思います。次に、紀宝町の基幹産業である柑橘農家の状況について柑橘農家の戸数と規模、面積について伺います。

産業振興課長

町内の全生産品目の農家数につきましては、2015年農林業センサスによりますと225戸となっており、2010年調査では291戸となっておりますので、5年間で66戸の減と年々減少している状況であります。農林業センサスでは品目別、柑橘だけの農家数がわかりませんので、町として把握しております認定農業者数では、柑橘が17名、水稲が12名、その他の品目が3名となっており、平成26年度と比較しますと、柑橘が1名、水稲が2名減少しております。柑橘の栽培面積は、三重南紀みかんの里創生プロジェクト協議会の調査に

よりますと令和元年度では63軒となっており、直近3か年では大きな変動がなく横ばい状況が続いておりますが、平成26年度と比較しますと約14軒栽培面積が減少している状況であります。

議員

柑橘関係ですが、熊野市から御浜町、紀宝町に4支部あり、一番多い時で130名、今現在は80名の戸数に減っている。今後の問題として次の振興策にも繋がってくるんですが、紀宝町においても補助制度等により細かいところまで網羅してもらいたい。その振興策というものをもう少し細かくやっていただけたらなというふうに思います。現在もこれからやろうという人たちが、やる気が出てくるような補助制度を1つでも2つでも、くみ入れていただけたらと思うわけですが、いかがですか。

産業振興課長

農業施策にかかる補助につきましては、それぞれの市町で検討し、実施しているものであります。町におきましては、苗木補助や客土補助は行っておりませんが、苗木補助

につきましては、国の制度を活用し、伊勢農業協同組合が事業主体となって支援を行っております。当町においては、受益者に負担をいただくことなく町が施工を行っているなど、農業者に直接補助でない部分で支援を行っていることもあります。補助制度につきましては、それぞれ市町で違いがありますが、今後においても補助の有効性や公益性など検討を重ね、取り組んでまいりたいと考えております。

議員

今おこなっている部分で、どうしてもその制度におさまらないという中で、町の判断で努力をしていただいて補助をしてもらったということは申し添えておきます。熊野市・御浜町・紀宝町で農協さんに対して共同出荷をしているという状況でございますが、その中で補助制度を、もう1つ努力していただいて、やっていただきたいというふうに思います。



榎本 健治 議員

・うどの幼稚園の預かり保育の延長について
・近畿自動車道紀勢線（熊野川河口大橋）について

他

うどの幼稚園の預かり保育の延長

議員

令和3年度のうどの幼稚園4歳児の入園希望者が1名という事で、特に夏休み、冬休みの期間の預かり保育について、更なる延長を行うべきではないか、伺いをいたします

教育課長

7月に実施したアンケートでも「夏休み冬休み期間の預かり保育の延長」については回答がありました。今後「幼児教育推進に関するプログラ



ム」を策定するにあたり、夏季冬季休業期間中の預かり保育の更なる延長も含め、保育時間等について検討してまいります。

議員

保育時間の延長と併せて幼稚園教諭の事務作業のICT化の導入もできないか。経済産業省では導入すると月9、6日間の業務短縮と試算しており、事務作業負担軽減と保育時間の延長と同時に推進していただきたい。

教育課長

幼稚園教諭の日誌管理など業務負担の軽減ができないか、ICT環境の整備も含め、今後検討してまいりたいと考えております。

近畿自動車道紀勢線（熊野川河口大橋）

議員

2025年には関西万博が大阪で開催の決定がされており、県境に位置する三重県と和歌山県の玄関口である、この新宮紀宝道路について、ぜひ関西万博までには開通をできないか。

町長

現在42号も老朽化してきていますし、少しでも早く予算を付けていただいて、2025年の開通ができれば大変ありがたいと思っています。今後とも粘り強く要望活動を進めてまいります。

議員

2025年、令和7年度を目指して、熊野川に対して架橋が架かり開通できるように御尽力願います。

鵜殿保育所建設

議員

鵜殿保育所定員数の増員に

ついて、お伺いをいたします

健康福祉担当理事

定員数は150人規模で、0歳児が12人、1歳児が18人、2歳児が30人、3歳児が35人、4歳児が30人、5歳児が25人と想定しております。

議員

0歳児保育について、現在飯盛保育所で定員数が3名、成川保育所で定員数が3名の現在6名ですが、毎年希望者が多いと伺っております。今後、鵜殿保育所の増員予定は。

健康福祉担当理事

保護者さんの関心が高い防災面での対応として、近い将来に発生が危惧されている南海トラフ地震の津波予測高に対応した高台に鵜殿保育所を新築し、耐震化等の防災機能を充実していくことによつて、自力避難は元より自力歩行も困難である0歳児等低年齢児の安全性が格段に向上し安心して保育できる環境を整備していきます。また、共働き世帯が増加する中、低年齢児保育に対するニーズが高まっていることなどから、新たな鵜殿保育所では0歳児を保育する専門的な設備を拡充し

少人数学級への転換

議員

ポストコロナ期の新たな学びを実現するために、今こそ30人学級を実現すべきだと思います。法改正が必要になることから国の責務において、計画的・段階的に30人学級を進めるように国に対して働きかけを強く要望するべきではないでしょうか。

教育長

文部科学大臣は、11月13日の記者会見で、教育のさらなる質の向上を図るためには、1人1台ICT端末を活用し、個々に応じた、きめ細かな指導を行う必要があることから、「感染症対策」と、「ICTを活用した個別・最適な学び」という2つの狙いを学校現場で実現するために、「令和の時代の新しい学校の

※この他に「地方創生とマイスターについて」の質問がありました。





浅田 和江 議員

・HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）について
・マイナンバーカードについて

HPVワクチン （子宮頸がんワクチン）

議員

HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）について現状のHPVワクチンについて、どのような周知方法をとっているのか伺います。

みらい健康課長

現在の周知方法は、問い合わせがあった場合に、厚生労働省のリーフレットの紹介や送付、配付のほか、広報きほう折込による全戸配付により、積極的な勧奨を差し控えていること、しかしながら、接種自体は中止しているわけではなく、対象年齢で接種を希望する方については定期予防接種として公費での接種が可能であること、接種をする場合は、医師からワクチン接種の有効性や安全性について十分に説明を受けていただく旨、お知らせしている。

紀宝町では、ワクチン接種を勧奨していた時期と中止後では、接種率はどのように変わったのでしょうか。

議員

HPVワクチンが勧奨されていた時期の接種率は、約69・5%の接種率であり、勧奨中止後の接種率は、約0.5%となっております。

みらい健康課長

もうちよつと情報が伝わるように、厚生労働省のホームページのリーフレット、小学校6年、高校1年相当、女の子と保護者の方へ大切なお知らせ、概要版、詳細版があるのですが、これをその対象者となる方に個別に送ることはできないでしょうか。

議員

厚生労働省の調査では、ワクチンの有効性と安全性に関する情報提供について、国民に十分に行き届いていないことが示されており、これまで行ってきた周知に加え、接種対象者及びその保護者に対し、厚生労働省のリーフレットを活用するなどいたしまして、個別の情報提供も検討してまいりたいと考えております。

3つ目に、医療機関との連携はどのようにされているのでしょうか。

議員

医療機関とは、毎年、予防接種委託契約を締結しております、その中でHPVワクチンについても、実施計画の確認と助言をはじめ、問診等による接種可否の判断、ワクチン接種に伴う注意義務の遵守、予防接種に関する相談などについて行うこととされておりまして、各医療機関において、接種を検討する方に対し、必要な情報提供を行っていただいております。

みらい健康課長

子宮頸がんになりやすい年齢というのが25、49歳ぐらいです。子育てしていれば、子

議員

原 章三 議員



原 章三 議員

・新型コロナウイルスについて
・被災者生活再建支援法の拡充について
・人口減少問題と農業振興策について

新型コロナウイルス 対策について

議員

第3波の到来により全国的にもまた三重県下でも深刻な状況になっている。9月以降、管内においての医療体制やPCR検査等の状況はどうなっているのか。

みらい健康課長

病床の確保については感染症指定医療機関である紀南病院において三重県の要請により従前からの感染症病床4床に加え感染者用の病床が追加

育ての真つ最中であり、仕事の上でもキャリアを重ねながら中心的な役割を果たすような時期です。また家庭においても社会的にも重要な役割を果たす年代となっております。子宮頸がんワクチンの対象者の方が、知らずに定期接種を受ける権利を逃してしまうことがないよう、また自分の身体や健康について考えるきっかけと、ワクチンを接種するかどうかを考え、自分で判断するための情報と提供していただきたいと思います。

マイナンバーカード についてについて

議員

マイナンバーカードについて、交付率はどの程度あるのでしょうか。

住民サービス担当理事

11月末現在、対象者10873人中、2036人に申請いただき、その内1677人にマイナンバーカードの交付を行っています。交付率は、

15・45%です。

議員

マイナンバーカードを持つことの必要性と今後の利活用についてどのようにお考えでしょうか。

住民サービス担当理事

現在の利用については、マイナンバーの証明や、身分証明書としての利用。またインターネットを利用し、確定申告などに利用でき、本年9月からマイナンバーカードを利用して、スマートフォンやパソコンから希望のキャッシュ決済に利用できるマイナポイント事業が始まっています。今後の利活用については、マイナンバーカードの事前登録により令和3年3月から健康保険証として使えるようになり、令和5年3月末までには全ての医療機関や薬局で利用できる予定になっています。これにより就職や転職、引越などを行っても、保険証の切替えを行うことなく医療受診を行なうことができ、高齢受給者証や高額療養費の限度額適用認定証などの書類も持参する必要がなくなります。その他、運転免許証との一体化、印鑑登録証明

慰労金を支払うべきではないか。今日、保育士さんたちは午前中トイレにも行けない状況下で子供さんを守っています。是非支給するよう求めます。

健康福祉担当理事

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の児童福祉施設等における感染拡大防止の観点から、保育所、学童保育施設では消毒液、ゴム手袋、空気清浄機の購入、子育て支援センターでは非接触式体温計などの購入をしております。保育士職員が時間外勤務を行う場合は通常の時間外手当としております。今は業務時間内でこういった作業を行っているというところであります。慰労金支給については、県町村会に対し保育士、放課後児童支援員等に対し処遇改善を推進することを要望しているところです。

議員

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済情勢の悪化が、働く女性に集中しています。そう知った中で厚生労働省の調査では自殺者が急増し、前年比八割も増加しております。特に女性の率が高くなっ

被災者生活再建 支援法の拡充

ています。こうした背景には子育てで非正規のため職を失ったなどが原因としてあります。管内の実態はどうなっていますか。

産業振興課長

熊野職業安定所では休業等による相談件数は八件、内女性はいくつかあります。元々女性が半数弱を占める中で、感染関連による件数は微増の状況です。また雇用調整助成金については熊野管内で49件、紀宝町では11件の申請との報告を受けています。また売り上げが減少している事業者へのセーフティネット融資関係については79件の申請がされています。

議員

コロナの影響で特に一人親家庭への影響が深刻な問題となっています。母子世帯の課税所得は年間231万円という厳しい状況です。町内においても子どもの貧困、働く女性の経済的救済措置をジェンダー平等の点からも取り組んでいただくことを要望します。

人口減少問題と 農業振興策

議員

人口減少問題は地場産業、学校、医療など多岐にわたる深刻な問題となっています。農林水産省が11月に発表した農林業センサスでは農業従事者は136万人で5年前と比べ約40万人に減少となっています。また高齢化のため65歳以上が約70%となっています。当町でも担い手不足が深刻な問題となっています。2019年国連が提唱した「家族農業10年」では家族単位とした小さな農業の在り方注目を集めています。コロナ禍のなかで都会から地方に移住したい、農業をやりたいという若者が増えていきます。また消費者ニーズも変化し安心、安全な食を求める声が高まっています。若い人たちに移住してもらい人口減少問題とこれらをうまく生かしながら、小

るよう国、県に取り組みを行うってまいります。

な農業の在り方を進めていくべきではないか。また空き家バンクなどで農業希望者を受け入れる体制をつくるべきではないか。

産業振興課長

当町でも農業者の高齢化が進み今後も離農者が増える状況に置かれています。それらを少しでも緩和するため空き家バンクに付随する農地については「旧紀宝町で40アール、旧鵜殿村で20アールの農地取得面積制限を1平方メートルからでも農地を持てるようになりました。

政策担当理事

移住促進のための事業については補助対象、金額も含め人口減少問題、移住定住対策など、空き家の有効活用にも繋がる良き施策となるよう検討していきます。



か伺います。

健康福祉担当理事

まだ確定はしておりませんが、保護者さんから防災面の対応をしつかり進めてほしいということのご意見をたくさん頂いておりますし、0歳児・1歳児につきましては、自力避難、自力で歩行するということが困難ということがありますので、安心できる保育環境を整備するという意味合いで新鵜殿保育所に、集約をして幼児教育の拠点としていきたいということであります。

議員

成川保育所と飯盛保育所は、この保育所ができたら0歳児は取り扱わないということですか。

健康福祉担当理事

保育所につきましては、0歳児は3人に1人、保育士を配置するという決まりもございまして、そういった兼ね合いから、1か所に拠点として集約した中で安心して保育ができる、保護者さんが預けられる環境にしていきたいということであります。

鵜殿保育所 建て替え工事

議員

鵜殿保育所建替工事に伴う定員確保、及び今後の施策について伺います。令和3年の入所予定園児の人数がわかれば教えてください。

健康福祉担当理事

現在の鵜殿保育所につきましては、定員126名に対して94人の入所ということであり

議員

令和4年の時点で、0歳児

農業施設等 の維持、管理

議員

次に移りたいと思います。農業施設等の維持管理についてですが、相野谷川流域において進めた圃場整備が行われました。それから25年の年月が経ち、地盤沈下が起こっております。その農業用水路というのは農家にとっては作付けや、いろんな収穫にも大きな影響があります。農家にとっては大変死活問題であります。事業を進めた県と町は協議をしていたら、この農業用水施設の早急な対策を講じていただきたい。

産業振興課長

農業用水路等の農業用施設の改修につきましては、県営事業や、町単独事業での整備、多面的機能直接支払交付金を活用した地元団体による整備により行っております。実施する施設改修等の規模や緊急性等を考慮して活用する事業や実施時期などを計画しております。議員ご要望の農

が生まれたのでしょうか。

健康福祉担当理事

保健所から出された暫定数ですが、令和元年度が60人ということでございます。

議員

やはりいろんな子育て支援というのを本当に充実したものに持っていかなないと、定員割れ、150人の定員の中に80人とか、そういう少ない人数になるのではないかと大変危惧しております。そこで今紀宝町としては、0歳児の保育を入れるということで、出生数減少に、歯止めをかけるということですが、それ以外に施策を検討されているのか伺いたいと思います。

健康福祉担当理事

保育所定員数を確保する施策につきましては、「令和2年度幼児教育（保育所、幼稚園）あり方についてのアンケート調査」における保育所に、幼稚園とくに、充実してほしい項目として、「幼児教育の充実」、「給食の充実」、「0歳児保育の充実」などが多く回答されております。そのようなことから、保育所ではこのような施策をさらに充実させてまいりたいと考えて

議員

今の担当理事の答弁ですと、定数はまだ決まっていなくていいことですね。では、なぜ150名の定員、今後統廃合によって各地区から児童数を集めてという計画の中で、規模の大きな4億4千万円という予定の保育所を建てるということ、それを計画されていますが、昨年度何名の方

業用水路の改修についても、規模や緊急性により対応方法を検討させて頂き、営農に支障が生じないよう対応してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



野田 純志 議員

・新型コロナウイルス感染症対策について
・災害時における避難所での感染対策について

新型コロナウイルス感染症対策

議員

今回の質問事項は、新型コロナウイルス感染症対策における支援について、2番目に災害時における避難所での感染対策についての質問をさせて頂きいただきます。まず、はじめに、新型コロナウイルス感染症対策における支援についてをさせていただきます。現在、新型コロナウイルス感染症が、全国的に第3波の真ただ中にあり、緊張感が高ま



避難所での感染対策

議員

2点目に災害時における避難所での感染対策について、他の市町村においては過去の災害ではノロウイルスやインフルエンザなどの感染が相次いだことがあります。今までの災害対策に加えて新型コロナウイルス感染症に伴う対策も必要になってきます。当町では、具体的な対策はどのように考えておられますか。

総務担当理事

議員 ご質問の災害時における避難所での感染対策についてですが、新型コロナウイルス感染症対策に必要なマスクや防護服、ゴム手袋、フェイスマスク、アルコール消毒液、非接触式体温計等の消耗品や備品をはじめ、パイプ組み立て型の間仕切等を各避難所に準備しております。また、町では避難所における「新型コロナウイルス予防対策マニュアル」というのを作成しております、それに基づき、大里多目的集会施設において、本年7月5日に新型



る気の抜けない日々が続いています。現時点まで、紀宝町では幸い感染者が出ておりません。町民皆様が様々な対策をとっていただいております。しかし心身ともに負担となっていることは間違いのないと思います。また、消毒液やマスクの購入等の経済的負担も続いている状況であります。引き続き、感染症対策の徹底をお願いし、継続的に協力していただくためにも、町として給付金という形で支援を続けていくことも必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

みらい健康課長

紀宝町新型コロナウイルス感染症対策本部事務局として、みらい健康課から答弁させていただきます。新型コロナウイルス感染症対策における支援につきまして、町民の方々の不安軽減、経済的負担を補うための給付金にしましては、これまで、町単独支援として、「紀の宝商品券」や「紀の宝プレミアム付き商品券」などの商品券事業を始め、「紀宝町子育て等応援給付金」、「紀宝町ひとり親家庭応援給付金」、「妊婦さん応援



平野 美津子 議員

・鵜殿区内に建設中の新宮紀宝道路工事業に対して、近隣に居住している住民の生活を守る対策は

新宮紀宝道路工事事業

議員

鵜殿区内に建設中の新宮紀宝道路工事業に対して、近隣に居住している住民の皆様方の生活を守る対策は、どのような形で進められているのかというところで、まず3つの項目をあげさせていただきます。工事振動にかかるとする事業の対応について、騒音に関する事業の対応について、粉塵に関する事業の対応について、今工事現場でどのような対策をとら

給付金」などの給付金事業を実施してまいりました。また、国の支援事業である「特別定額給付金」や「子育て世帯への臨時特別給付金」についても町から給付を行ってきたところであります。また、事業者の方々に対しましては、県・市町協調事業「三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金」を始め、町独自の事業といたしまして、「紀宝町新型コロナウイルス感染症拡大阻止支援金」及び「紀宝町新型コロナウイルス感染症経営応援金」を給付するなど、事業者への支援を強化してまいりました。議員ご質問の町として給付金という形での更なる支援については、今後の感染状況、社会・経済状況に注視しながら、引き続き検討を行ってまいります。

議員

当町におきましては、今まで今おっしゃられたような様々なご支援もいただいております。たしかに現在の町民は閉塞のある、この日常生活の打開、モチベーションの向上にプラスになるように国からの給付金10万円というよう

れているのかということをご説明ください。

基盤整備課長

現在、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所では、一般国道42号新宮紀宝道路事業の鵜殿区内において、7件の橋梁下部工事を実施中であります。工事振動、騒音の対応につきましては、三重県生活環境保全に関する条例「建設工事に対する騒音・振動規制の手引き」では、建設作業場所の敷地境界線での騒音値85dB以下、振動値75dB以下と規制されております。また、工事着手前の工事説明会において、工事による影響の可能性が想定される家屋につきましては、家屋調査を実施し工事による影響を確認するとともに、作業場所付近に騒音振動計を設置するなど、適切に工事を実施すると伺っております。建設機械につきましても、徐行の徹底、急発進・急停車の防止、現場には万能柵の設置など、騒音・振動を軽減するよう努めると説明がされております。次に、防塵の対策につきましては、作業場内で適宜散水を行うとともに、工事車両出入

な形で現金給付で2万円を実行されたらいいなと思っています。いろいろ予算のこともありますが、補正予算、第3次補正予算と予備費の交付を期待している次第です。やはり商品券その他よりも町民全員に配られる現金が一番いいんじゃないかなと思っていますが、どうでしょうか。

みらい健康課長

議員 おっしゃられた今回の第3次補正予算等の国の施策、あと今後予定される県の施策等も考えながら、それを補うところがあれば、町単独という支援金も検討することになるでしょうし、また国や県がしなくても必要であれば、その感染状況、社会的状況によっては、町で支援金を検討することになると考えられます。その辺は国・県の動向をきちんと見ながら、今後検討することになります。

口では、高圧洗浄機によりタイヤ洗浄を行い、道路汚損にも注意を払うと説明がされています。工事中、近隣の皆様から、ご意見をいただいた案件につきましては、紀南河川国道事務所新宮監督官詰所に報告し、ご意見をいただいた方に対し、具体的な内容の聞き取り、対策の検討及び提示を行うなど、対処いただいております。町としましては、住民の生活環境保全に関して、今後も様々な心配ごとや、疑問に思われることを、基盤整備課内に設置しております「新宮紀宝道路推進室」を中心に拝聴し、紀南河川国道事務所と連携して、不安解消に努め、事業を円滑に進めてまいりたいと考えております。

議員

今ご説明いただきましたけど、町として、その近辺の地域の方々が安心して暮らしていると考えますか。

基盤整備課長

近隣の方々から頂いた意見につきましては、先ほども述べさせていただきましたが、国土交通省また町において意見を十分お聞きさせていただ

いて、対応をさせていただいていると考えております。

議員

要するに、その地域に行けば、体感できるんですよ。どんな音がしているかとか、例えば日曜日にその地域を歩くと工事をやっている、その時に元請けの方が来られて、今日もごめんなさいと、それで次から、次の日曜日からはしないようにしますとは、おっしゃってくれました。そういう現実を把握されているのかってところですが、どうでしょうか。

基盤整備課長

議員ご質問の日曜日の作業ということに関しては、町のほうとしましても1日、日曜日の作業があったということは把握しております。説明会のほうでも原則、日曜日は工事のほうを休むというような説明がありましたので、町のほうからも日曜日の作業については、極力止めていただくよう要望をしているところであります。

議員

要するに、規定内でおさめていただいても、高齢者もたくさん住んでいる地域です。

そういう中で、工事をするも住民の皆さんの暮らしというのを守っていないといけないと思っておりますが、その点はいかがですか。

調整監

その点、議員のまさに御指摘いただいたとおりであります。これまでも、町、町長も、議員の皆さんにも答弁してまいりましたが、用地交渉とかいろいろお願いする部分は当然お願いしていきますけれども、工事になった際には、我々としても、町民の皆様様の立場に立って、県や国に対して物を申していくようにということ、きつく言われております。職員も、町の住民の1人として、国や県に対して町民の問題とか、苦情に対しては真摯に向き合っていくように努めております。

議員

しかし今でも、そういう近隣の方で1日中、自分の家でおられないから、出かけて行っているという方を把握していますか。

基盤整備課長

1日中、外に出られているという方の把握はしております。

議員

その地域へ聞きに入っていないのだしたら、そういうお話しても聞けるんじゃないかと思いますが、その点今後どうですか。

調整監

議員ご指摘の部分につきましては、まさに先ほど議員がおっしゃった誰が、どなたがおっしゃっているのかと聞かれることに対してお怒りでしたが、まさにそれをお聞きして、その個人の方のお家へ伺って、その状況をお聞きをしたいから、担当のほうも伺ったということですので、今後議員がおっしゃられている方のお名前を教えてください、役場の職員がそこへ伺ってきちんと事情をお聞かせいただいで、対応をさせていただきます、よろしくお願いいたします。

※この他に「コロナ禍の自治体のあり方及び新型コロナウイルス感染症タイムラインについて」の質問がありました。



次回 令和3年3月1日より開催予定

議会を傍聴してみませんか？

紀宝町をより良い町にするための議論を交わしています。



本議会では、町民の皆さんの生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされております。

本議会は議事の公開の原則により、会議中、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

町政への理解を深めていただくためにも、皆さまの傍聴をお待ちしております。

◆本議会開催場所

紀宝町役場 3階・議場

◆開催予定日時

令和3年3月1日
午前9時より

◆傍聴の手続き

①紀宝町役場庁舎内3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順にて受付しております。

②議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

◆注意事項

- ①言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。
- ②飲食または喫煙をしないでください。
- ③携帯電話の電源をお切りください。
- ④写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

◆お問い合わせ

紀宝町議会事務局までご連絡ください。

☎0735・33・0342



議場の様子



■次回定例会の予定

3月1日(月) 開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

■議会生中継について

公共施設4ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ①役場本庁舎
 - ②生涯学習センターまなびの郷
 - ③福祉センター(鶴殿)
 - ④相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案(12月)

- 紀宝町議会議員及び紀宝町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
- 紀宝町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 紀宝町営浄化槽整備推進事業に関する条例の一部改正について
- 紀宝町立図書館条例の一部改正について
- 紀宝町飛雪の滝キャンプ場の指定管理者の指定について
- 新町まちづくり計画(市町村建設計画)の変更に ついて
- 紀宝町道路路線の認定について
- 工事請負契約の変更(紀宝町立図書館移転に係る改修工事)について
- 紀宝町指定金融機関の変更について
- 令和2年度 紀宝町一般会計補正予算(第5号)
- 令和2年度 紀宝町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和2年度 紀宝町診療所事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和2年度 紀宝町水道事業特別会計補正予算(第3号)

編集後記

この原稿が皆様に届くころには寒さも幾分やわらぎ、春の気配を感じる頃になっている事とされます。昨年を振り返ってみますと新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わるといいう大変な一年でありました。目に見えないウイルスがこんなにも人間に影響を及ぼすことになった事が本当に衝撃的でした。幸いにも、わが紀宝町には感染者は出ませんでした。一日でも早くワクチン接種が開始されることを、今は祈るばかりです。さて皆様にお願ひ事があります。いつ発生してもおかしくないといわれている東南海地震に備え今一度、非常時の持ち出し品や避難経路・家族と落ち合う場所の確認などを行い、いざという時の為に準備をしておいてください。またお隣さんや近所の方々ともお互い助け合える打ち合わせ等もできる範囲内でやっていただければ幸いです。

(文責 大倉)
「議会だより」(54号)

編集委員 野田 純志

大倉 孝司

原 章三